

岩田年浩 教育講演会

日時: 平成 30 年 3 月 26 日(月) 午後 2 時~3 時 30 分

場所: 摂津市立コミュニティプラザ(阪急摂津市駅前 1 分)
二階の会議室 3・4 で

料金: 無料

テーマ: **超長寿社会と子供の教育**

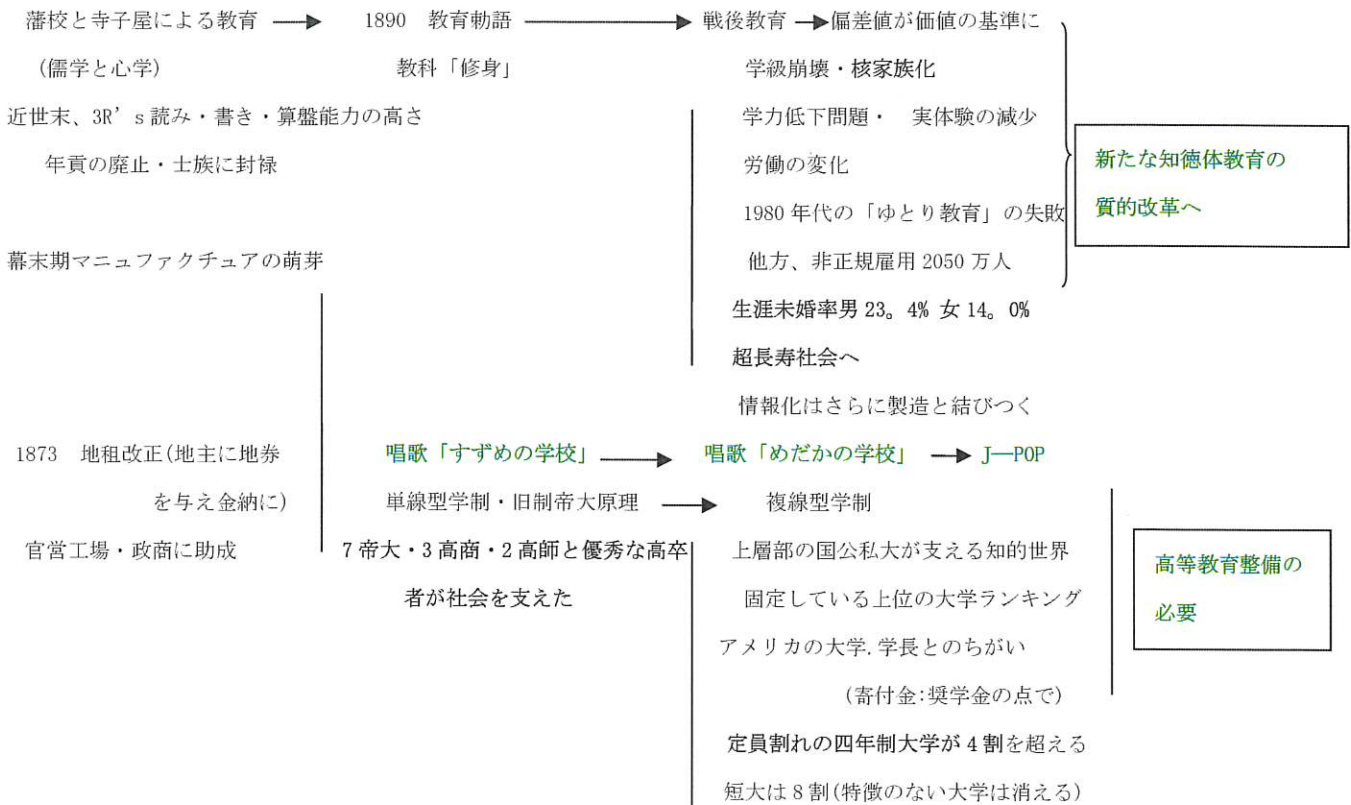
これからの日本社会をよく考えてみましょう。打開の道はあります。内容の濃い、しかし笑いの頻発する話です。ご出席をお待ちしています。

1 時代は大きく変わってきている(先生も生徒も親も社会も)



1946 の GNP は 4740 億円、2016 の GDP は 528 兆円と戦後 1114 倍に

識字率の高さが続く (これが日清・日露・第一次・第二次大戦へ向かう動因になっている)



2 社会の変化にどう対応するか

現在、日本は超長寿社会へ向かって進んでいます。高齢者(65歳以上)の総人口に占める割合は現在 27.7%と過去最高ですが、これが 59 年後には 38.4%になります。勤労者の定年も少しずつ伸びて行くでしょう。

→ 高齢者は人生をより豊かにする必要があります。つまり、自分の人生をどのように豊かにしていくかです。健康や体力とともに、働き所得を得るという人間の本能に依拠した社会が求められます。また、失敗や行き詰まりに対して、気分転換をすることが大切です。次へ行くこと。

子供社会も大きく変化し、1985 年をピークに体力は低下し、子供たちが外で遊ぶ時間は現在 11 分となっています(ゲーム、ファミコンからスマホの影響)。放課後や休日の公園に子供の姿が少なくなっている。地域の子供会が崩壊したりしている地域も目立つ。大学生がスマホに費やす時間は全国調査で一日に 8 時間。焦った英才教育にも問題が。

→ しかし、スマホの環境の中でも、ネットでつながることが読書や勉強の刺激になっている事実もある。私立学校では、教師と生徒の勉強についての質問と解答などがスマホで行われていることが多くなっている。スマホ中毒を積極的に解決していくことを考える。

核家族化し、年配者や他人との会話がさげられ、嫌われる傾向もある。強引に会話をすすめると嫌われ失敗する。

宗教は現代人の悩みに無力ではいけない。

→ 社会的に保育環境が整えられていく中で、託児所・学童保育・学習塾・孫世話や教育も意義がある。特に、社会的に子育て喫茶やサロンを開いているところもある。